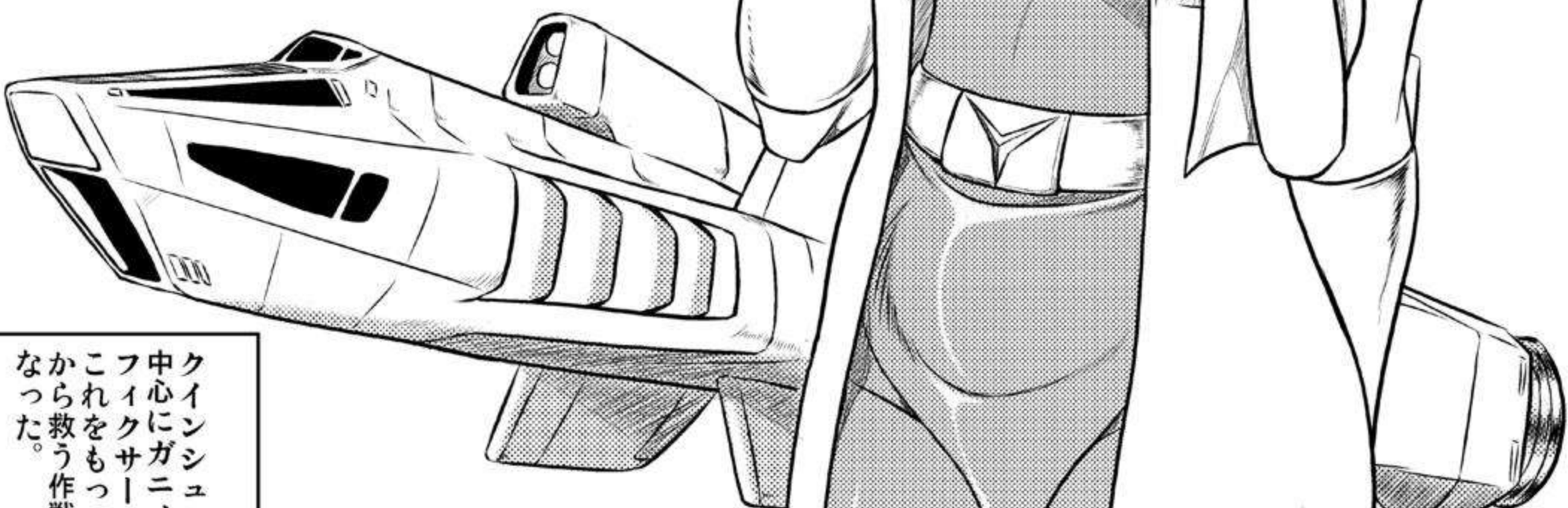




**Dr. Queenstein
Last Lesson.**

日増しに熾烈さを極める
アルデバロンによる地球侵略は
木星の衛星ガニメドを太陽と地球
の間に亜空間移動させ、
太陽光を遮り擬似氷河期をもたらす
と言う作戦を仕掛けてきた。


太陽光を遮られた地球は凍りつき
人類の絶滅も時間の問題となっ
ていた。
ガニメドを破壊しない限り人類に
生き延びる道は無い、
そこでブルーフィクサーは
ある作戦を立てるのだった。



クインシュタイン博士を
中心にガニメド破壊兵器
フィクサー1を建造、
これをもって地球を氷河期
から救う作戦を実行する事
になった。

しかし、フィクサー1の操縦には優れた力量
を要求され、
しかもそれは脱出不可能な特攻兵器。
それに志願したのがバルサバインの補充
パイロットとして訓練されていた
デビットウエイン。
クインシュタイン博士のかつての教え子
だった。






エラ・クインシュタイン 32歳 独身
ブルーフィクサー科学開発局長を勤める
論理的思考能力に長け感情に左右される
ことのない常に冷静沈着な女性。


若き日の彼女は亜空間物理学の教師として
教壇に立っていた。

その美貌と物静かな物腰から多くの生徒に慕われ
特に男子生徒からはあこがれの存在として
高く支持されていた。




その中でもデビットは最も熱心な
支持者の一人。
彼の眼は常にクインシュタイン
を追いかけ、食い入る様に見詰め
続ける。

憧れはやがて彼女への愛へと
変わって行き
その想いを手紙にしたためた
愛の告白をするまでに高まって
いった。



しかし当然ながらその一方的
な想いは届くはずもなく、
彼の愛は拒絶されてしまう。

年の差、教師と生徒の関係以前に
彼女には付き合っていた
同僚教師がいたのである。



それでも尚諦め切れないデビットは
彼女を追いかけブルーフィクサーへ入隊。
叶わぬ想いを抱きながらクインシュタイン
の姿を追い続けていた。
人類滅亡の危機に特攻に名乗り出たのは
只彼女を守りたい故での志願だった。

「午前一時ドアの鍵は開けておきます。」
出撃前日デビットに告げた一言。
それは彼の想いを受け入れると
決心しての言葉なのか、
私の為に死を選んだ彼への哀れみ
からなのか自分自信でも判らない。

只、ハッキリしていることは
明朝彼は出撃しそして二度と私の
前には帰って来ないと言うこと
只それだけが判っていた。

サキヤ



キヤツ!

クインシュタイン博士!

ガッ

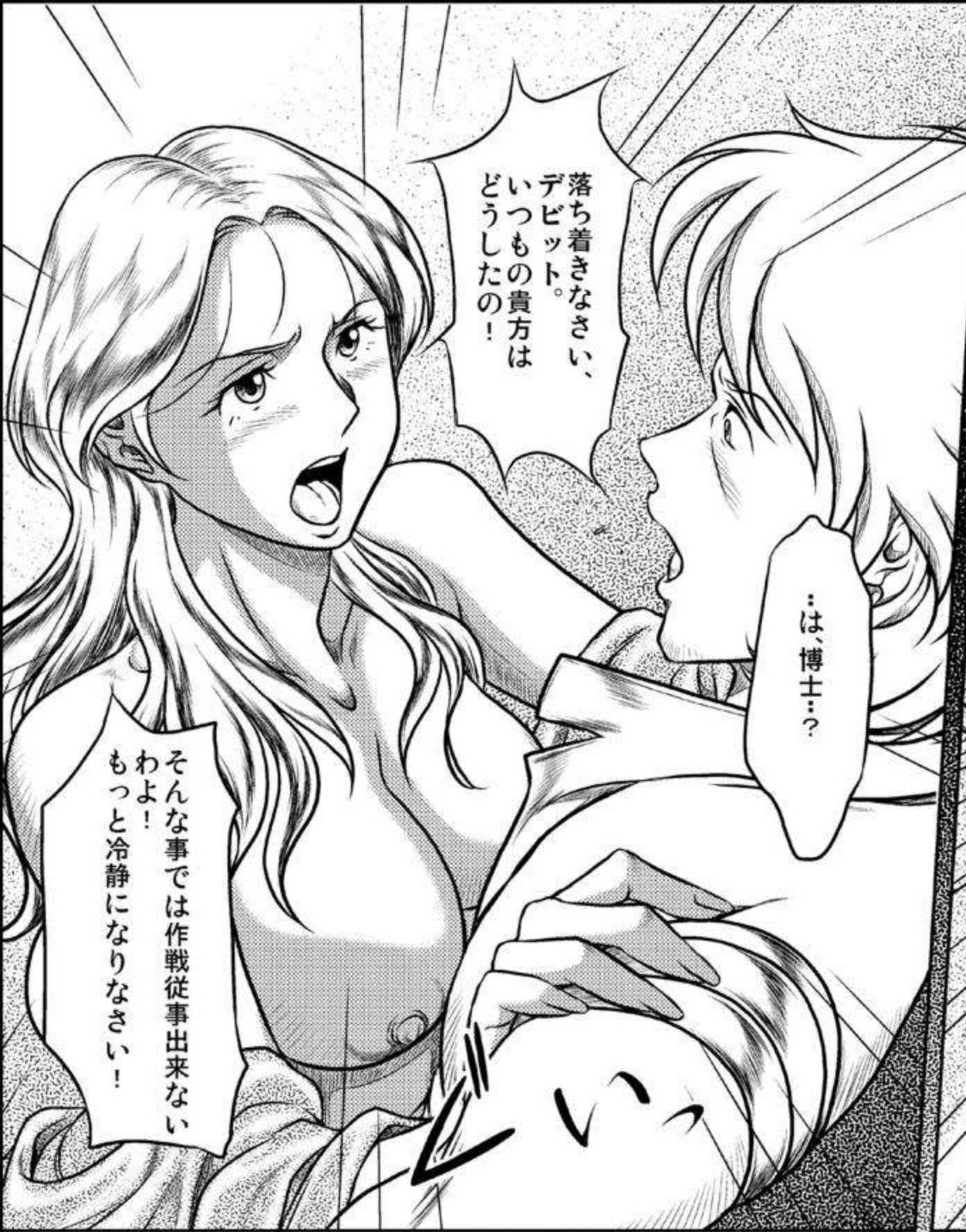


こんな風に博士をこの手に
抱ける日が来るなんて!!
最高の日だ!!

「ちよっと、
デビット、はなして!」

ああっ! 夢みたいだ本当に
待っていてくれたんですね!

イ、痛い!



落ち着きなさい、デビット。いつもの貴方はどうしたの！

…は、博士…？

そんな事では作戦従事出来ないわよ！
もっと冷静になりなさい！



ッ！

デビット！



そこにお掛けなさい
私がやってあげるわ。

…は、博士が…！

これが貴方にして
あげられる…

最後の授業です。



…すいません遂興奮
し過ぎて…

自分で押さえが利かなく
なっていました。



…もう、

しょうがないわね…





ああっ!
すごい!これは夢じゃない!
博士の舌が指がボクの
ペニスを...



博士がボクの陰囊を揉んで!



はー



うああっ!
ひ引き抜かれる!

おおおっ!
の、呑み込まれた、
ボクのペニスが!

ング!



は、博士！
そんなに亀頭を裏筋を丹念に
舐められたら、もっもう！

クッ！

ビクッ

んぐ...

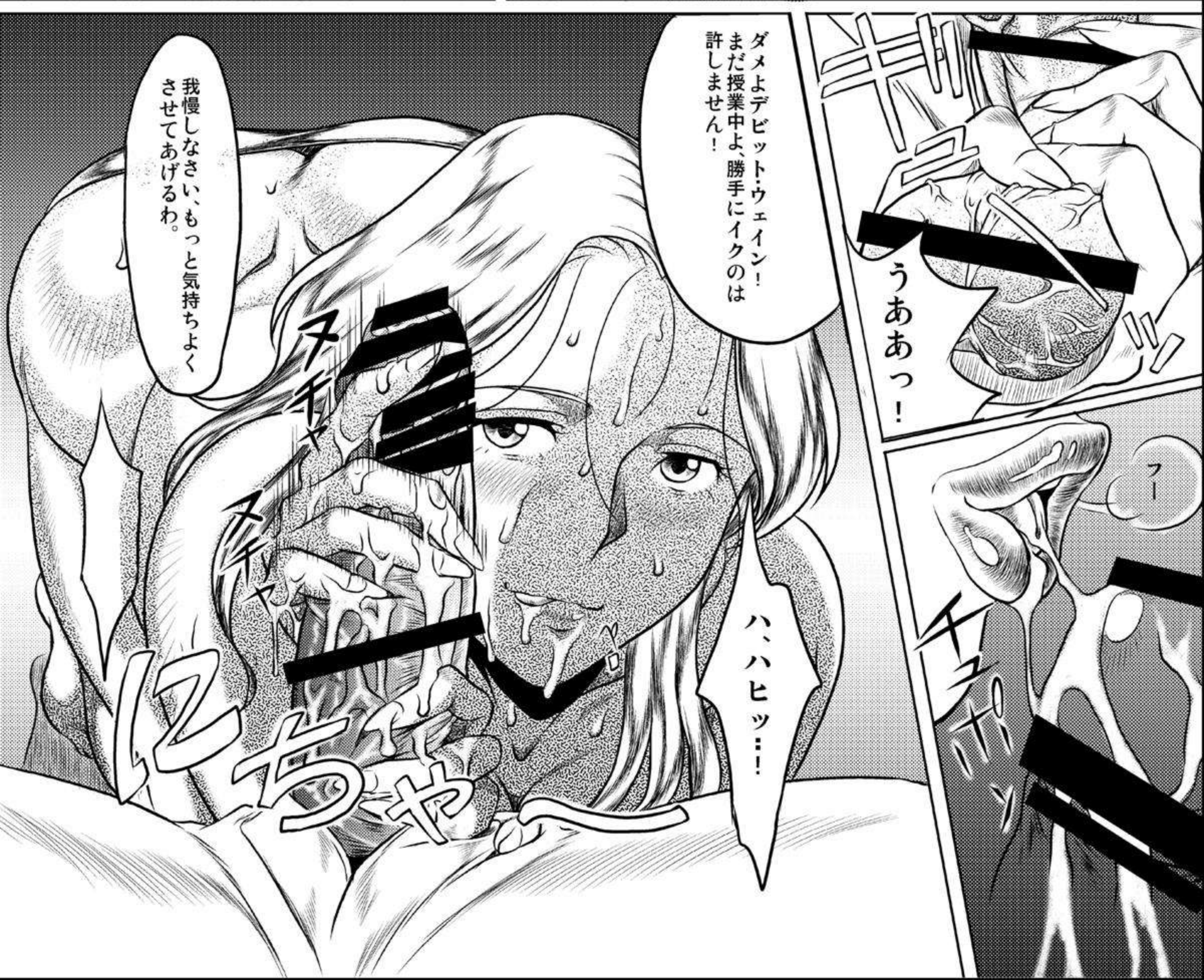
ちゅ

んぐ...

んぐ...

モグ

モグ



我慢しなさい、もっと気持ちよく
させてあげるわ。

ダメよデビット・ウエイン！
まだ授業中よ、勝手にイクのは
許しません！

アキ
アキ
アキ

ちゅ

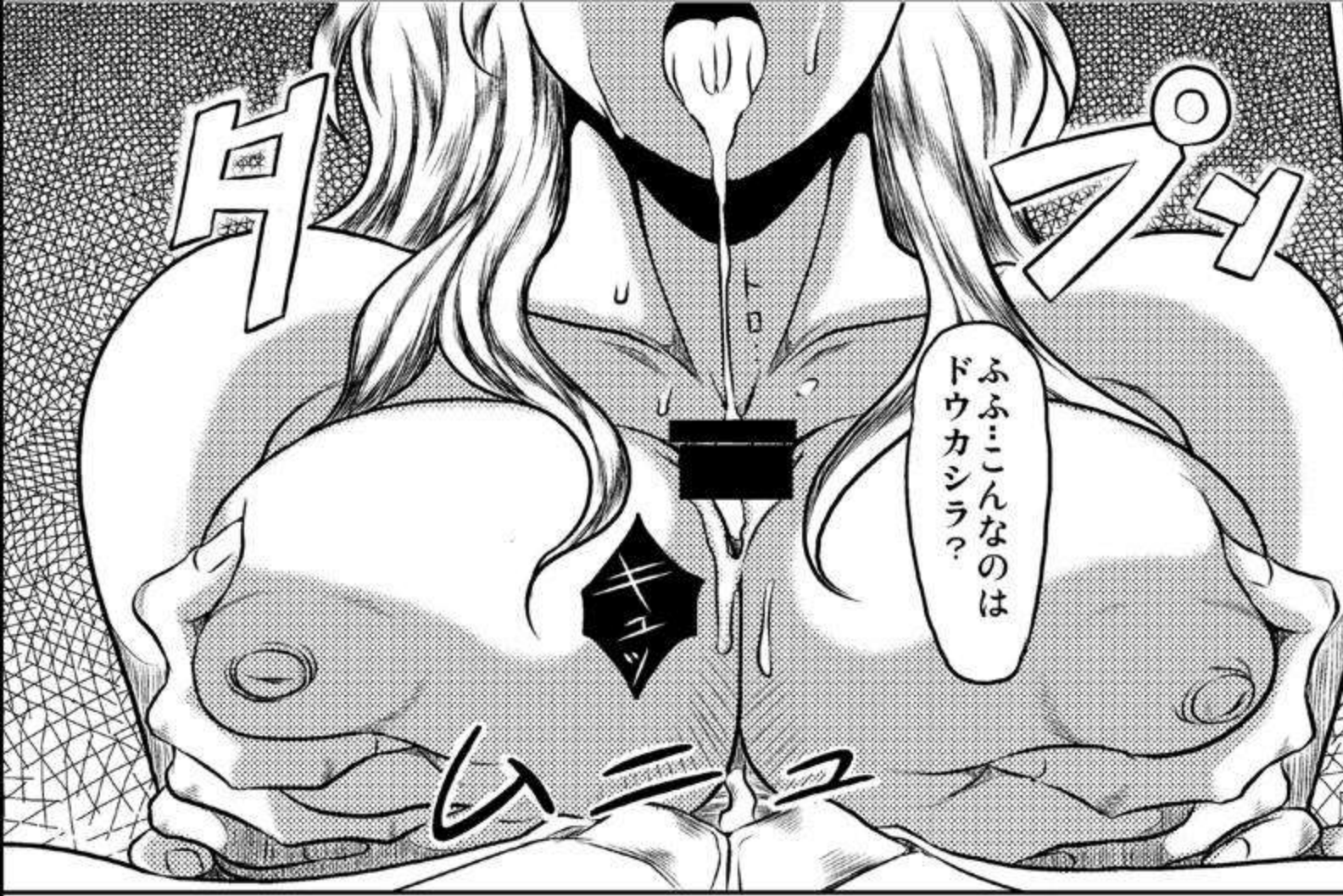
ハハヒッ...



うああっ！



アキ



ふふっこんなのは
ドウカシラ?



んああっ



ほら、如何?

私の胸を犯し
てるわ!



おおっ!

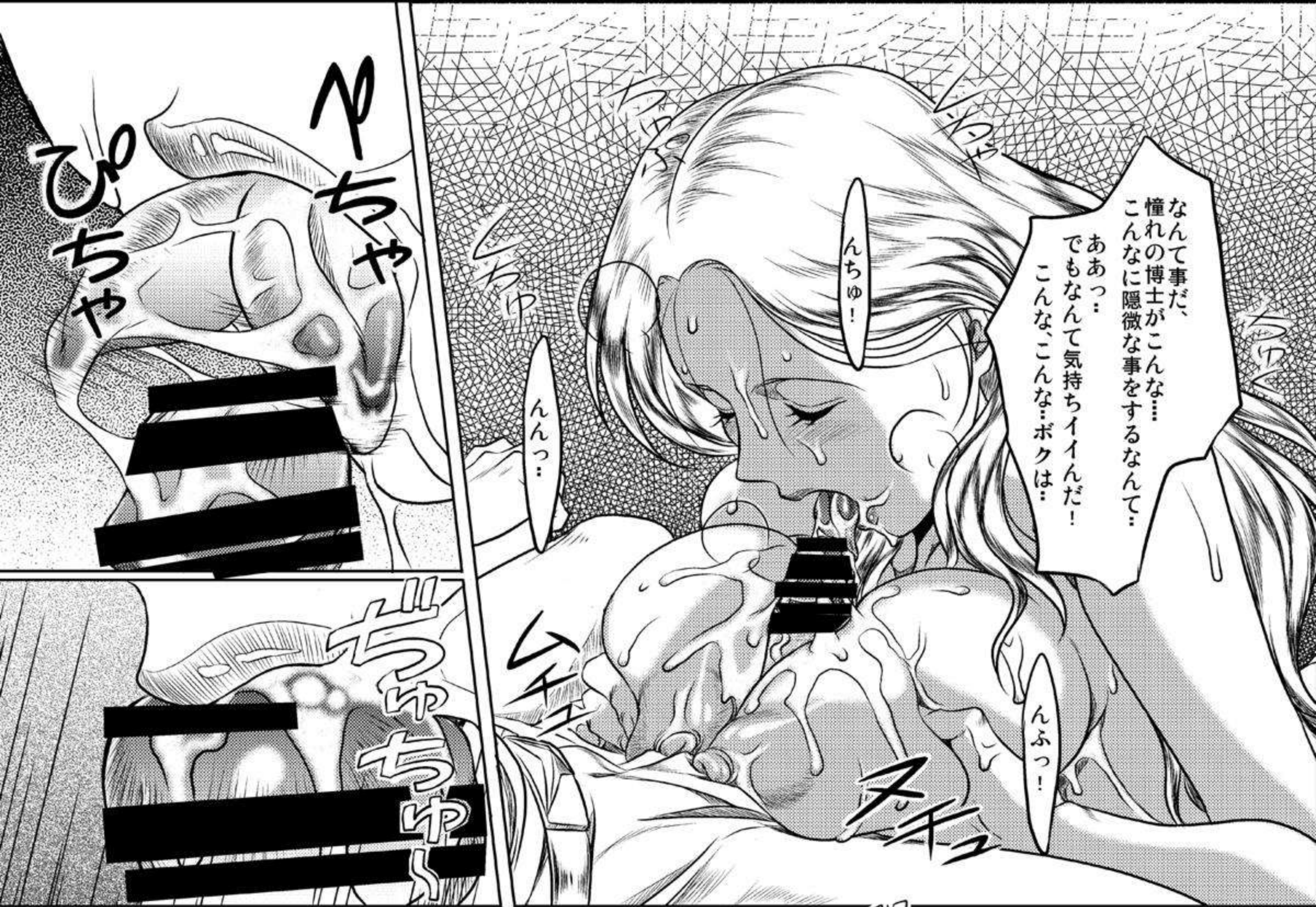
博士の胸にボクのペニ：
チンポが挟まれて：
揉まれてる！

そうよ、良く見ておきなさい、
デビット!

私の胸を突き上げている
貴方の逞しいチンポを!



熱い、熱い
チンポ!



なんて事だ、
憧れの博士がこんな…
こんなに隠微な事をするなんて…
ああっ：
でもなんて気持ちいいんだ！
こんな、こんな…ポクは…

んちゅ！

んんっ！

んふっ！

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ



は、博士…！
もう我慢できません！
クツ！でます、出します！
ク、クインシュタイン…！
■■■■

ほ
か
ほ

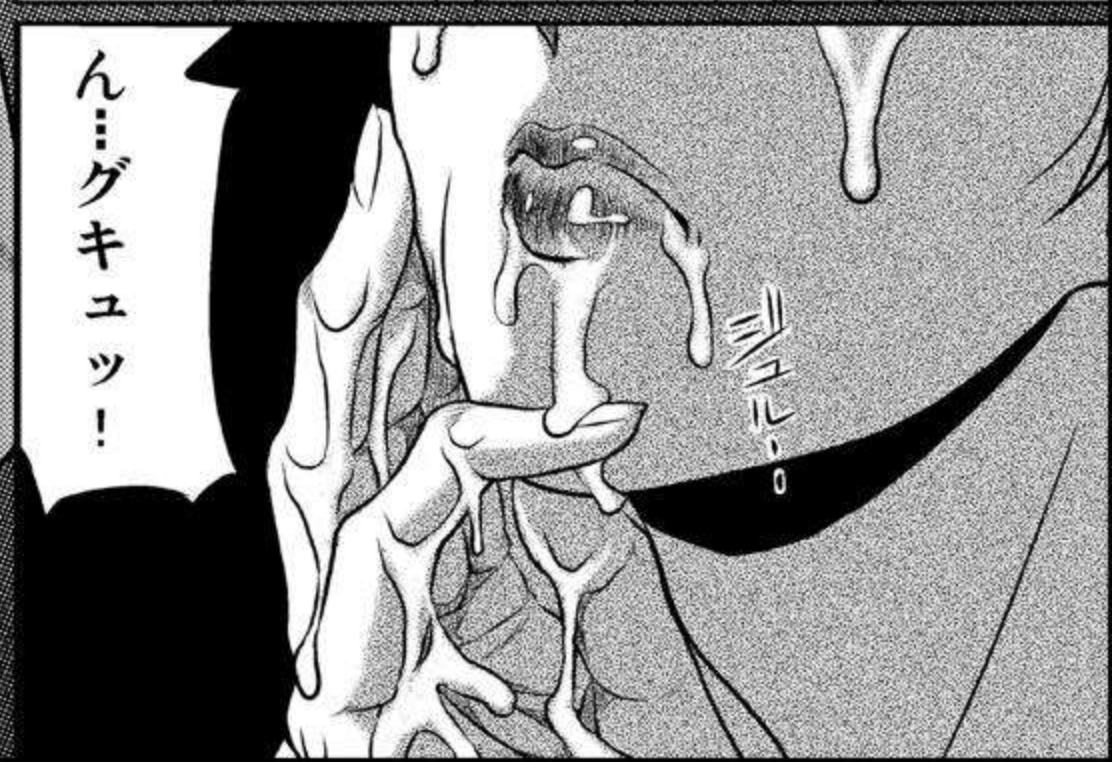


ああっ、もう！

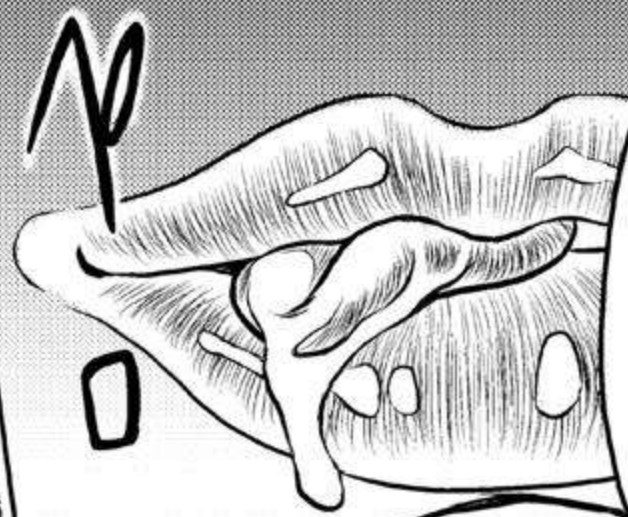
もうダメだ！

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ



んふふ、
ご馳走様。
こんな濃いザーメン
ひさしぶりよ。



博士、どうしてボクを部屋に
どうしてそんなことを
いうのです。

…どうしたの、デビット？
気持ち良くなかったかしら？
ごめんなさい久しぶりだったから
かしらちよっと覚束無かった
かも…

私は貴方の想っている様な人間では
ないわ。

ボクの知る貴方はそんな人では無かった
聡明でやさしい人だったはず、
どうしてですか？
なぜボクにそんなことを…？

だって、貴方のチンポ立派なんです
もの唾えるだけで大変！
こんなに大きいモノはあの人以来、
私が見た中でも一番よ、
人に自慢できる一物だわ。

貴方の考えてるクインシュタインは
数ある私のほんの一面にしか過ぎない
これも本当の私、
エラ・クインシュタインなのよ。

…デビット。





・クインシユタイン:

・エラでイイわ。

デビット、私を貴方の女にしなさい
私の最後の男になりなさい。



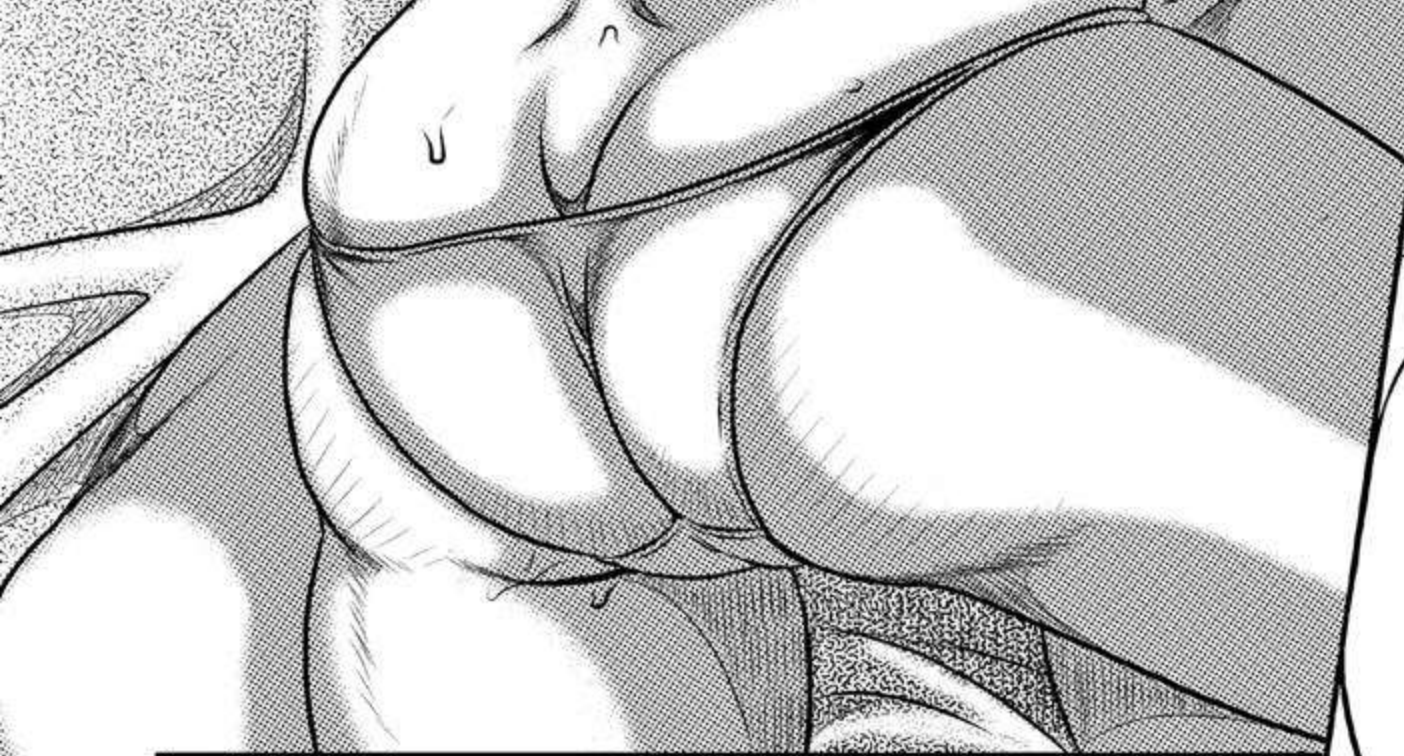
判ったわ、デビット。

貴方の想い受け止めてみるわ。
真っ直ぐ私を見て、デビット。



・エ、エラ

デビット



私を抱いて、
強く抱きしめて…!

貴方の想いを忘れない様に
私の体に刻み込んで
貴方のモノにして。



んっデビット…

エラ!



はあっ!!

ああっ

んっんっ

エ、エラ!
ああっオレの女

ああっ、デビット:
もっと、もっと強く抱きしめて。
ああああっ!

チュッ

ふああっ!

いやん!
そんなに強く吸った
ダメ!
ああっ、デビット
もっと強く!!

るん



ちゅる

ちゅる

はぁあっ

あぁっ!

ちゅる

デビット!

いいわ、
あんそこ、そこを
もつと!
もつとして!



はぁっ!...

ああん、私のマンコが
デビットの舌で
蕩けてゆく...

クリトリスが
あんなに硬くなって。

はひっ!
ん!あぁっ



おぉっ!

じゅる

あおおおっん

ダメ、ダメよ
デビット、
そんな、そんな
強く!...



さあ、いらっしやい：
デビット、私の膣に…

貴方と私、
一つになって愛し合うの…よ。



見て、貴方が欲しくて
待ち焦がれて涎を
垂らしているのが
わかるでしょ。

遠慮しないで
奥まで頂戴、
貴方のチンポに
犯されたいの。
子宮の奥まで！



ああっ、来て！
そのまま一気に
突き刺して！

ほあああっ…！
奥まで、奥まで
来て！

ぬ
ぬ
ぬ



ああっイイわ!

もっと、強く腰を振りなさい!
遠慮しないで、もっと奥までぶち込んで!
私を感じて、貴方が愛する女を感じて!

おおっ、そこよ!



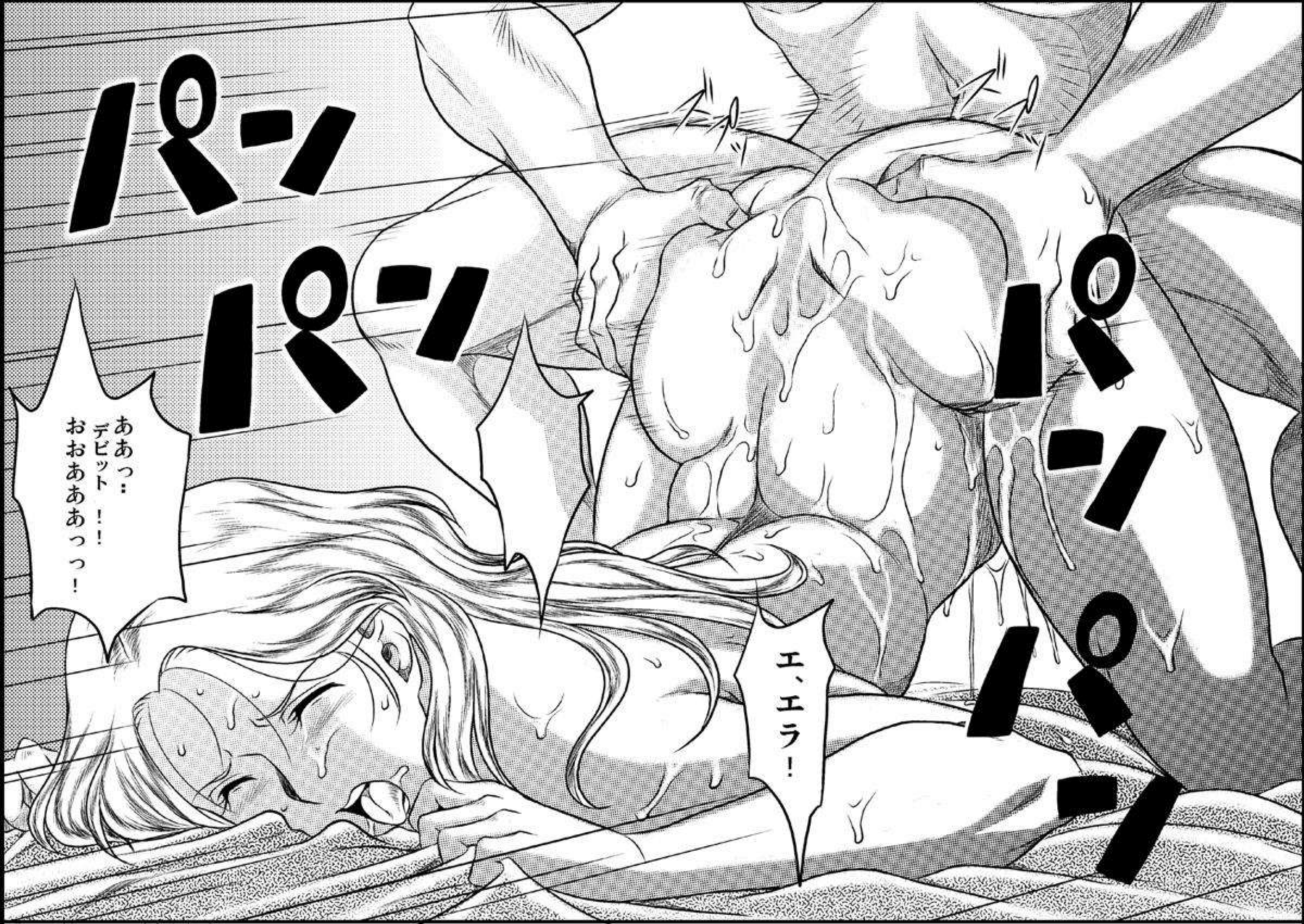
ああっ、なんて
遅いの!
貴方のチンポで
私のマンコを
蹂躞して!

突いて! 突いて! 突きまくって!
膣に貴方のチンポに形を
覚え込ませるのよ!
一生忘れない様に、
永遠に貴方だけのマンコにして!

ズッ

ズチュ

ズチュ



あぁっ：
デビット！！
おおあぁっ！！

エ、エラ！

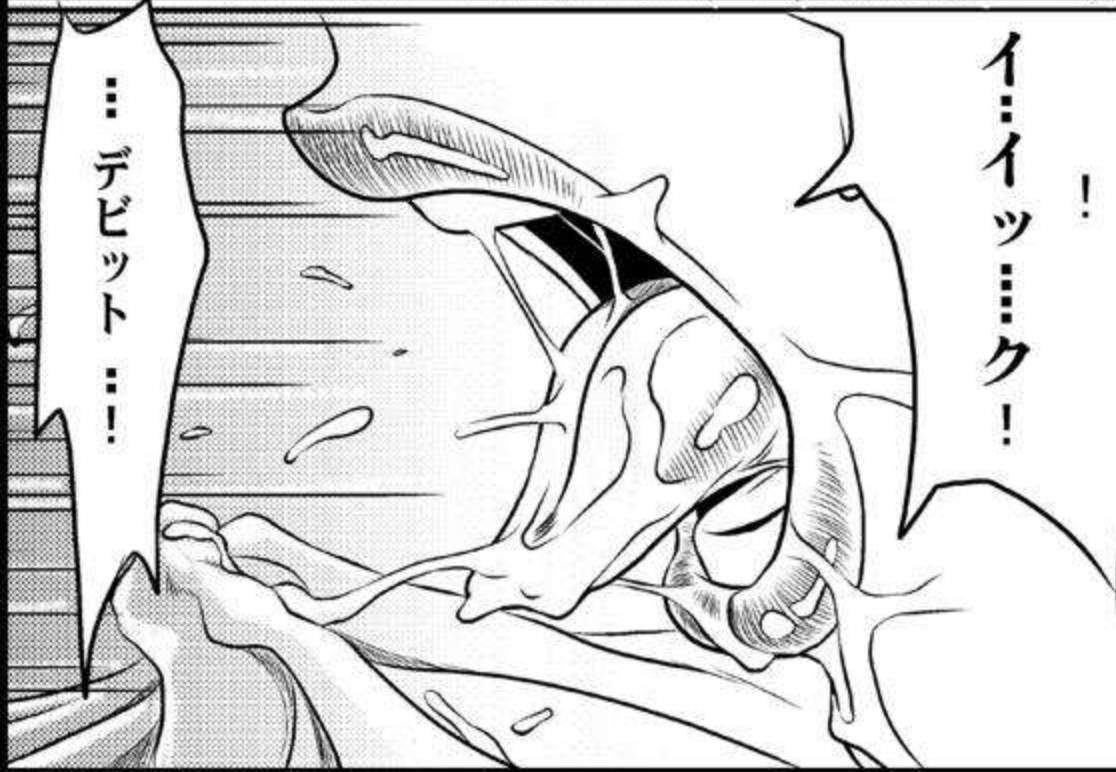


クッ！
来る、スゴイのが来る…！
イっちゃう、
私もう…イっちゃう！



突いて！
イかせて、貴方のチンポで
私をイかせて！

もうすぐ、すぐ…！



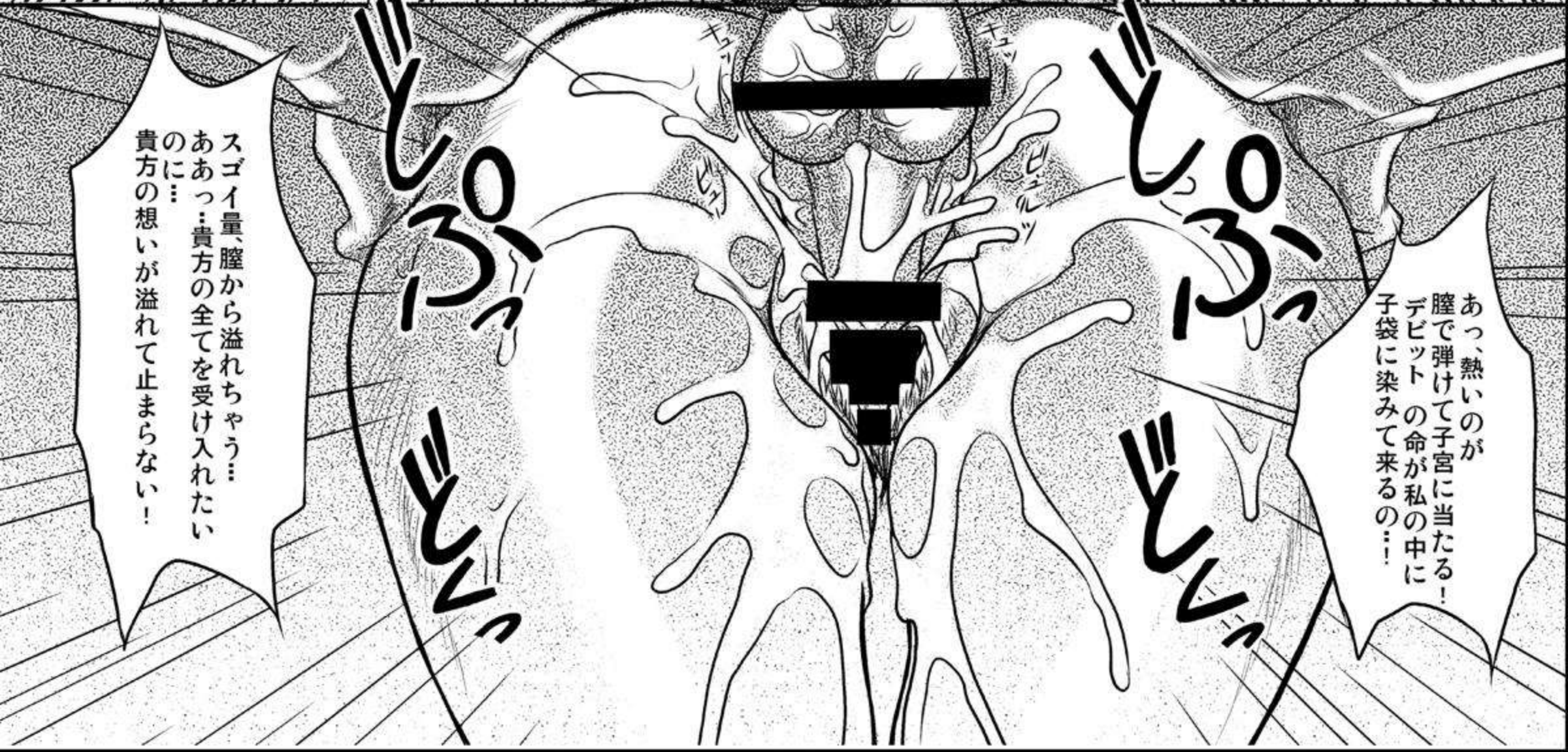
イ…イッ…ク！

…デビット…！！



うおおおん……
……あああああつ！

……ん、おおおおつ！



スゴイ量、膣から溢れちゃう……
ああ……貴方の全てを受け入れたい
のに……
貴方の想いが溢れて止まらない！

あつ、熱いのが
膣で弾けて子宮に当たる！
デビットの命が私の中に
子袋に染みて来るの……！



ああっ：拡がる、
デビットに拡げられちゃう
私の全てが曝け出されちゃう
!!!

お尻：お尻の穴が
!!!

ああっダメ、感じちゃう





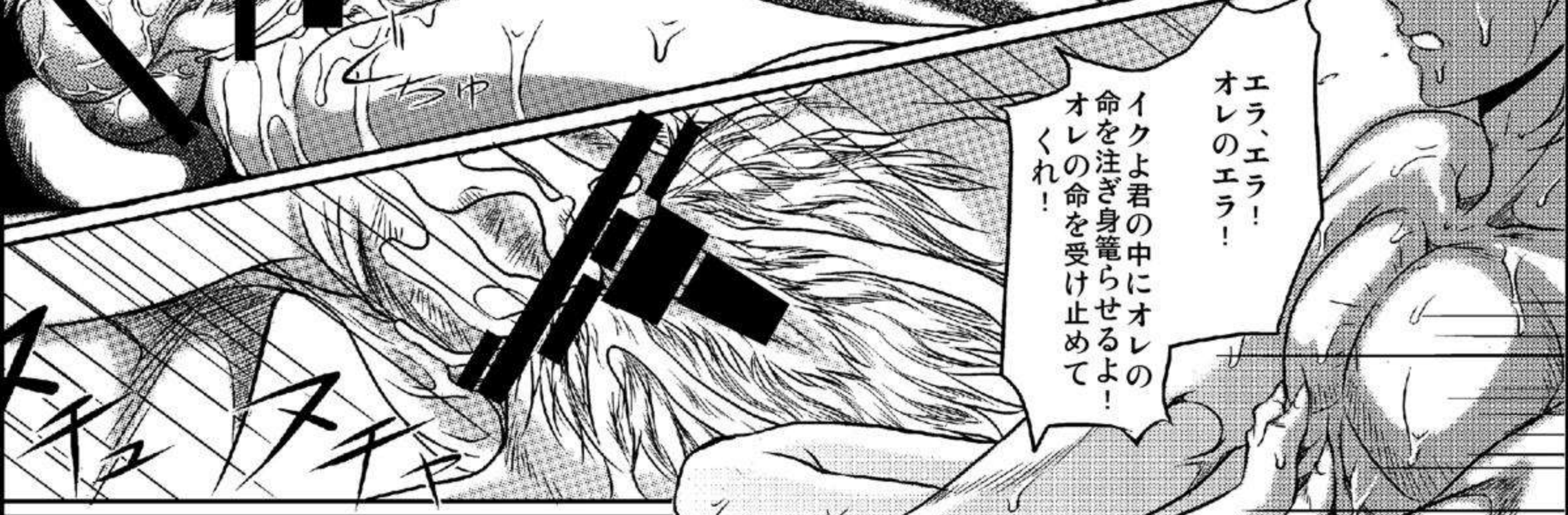
そして二人は互いの体を食べる様に求め合い、時が経つのを忘れ飽く事無く情交を交わした。命の期限を知ったオスの自らの遺伝子を残したい言う生存本能に突き動かされ幾度と無く私の中に精を放つ。



んんっ

んふふっ

んおおっ



イクよ君の中にオレの命を注ぎ身籠らせるよ！オレの命を受け止めてくれ！

エラ、エラ！
オレのエラ！



ああっ デビット！！

来て、全部出して！！
私の子宮にぶちまけて！！



あああんんっ

グビッシャー！

ハム...

ぶるん

ぶるん

あああああ

バキッバキッ

ジュル

ジュル



トクン
トクン
トクン

翌朝、作戦開始時間を待たず
フィクサーは出撃した。
デビットは何も言わず
私を一人ベットに残し旅立つた。
けっして戻る事の無い旅へ

私は只
その姿を見守る事しか
出来なかった。



ガニメドは消滅。
アルデバロンの
作戦は失敗に終わった。



さようなら…

デビット・ウェイ



一人の若者の犠牲により
地球は救われた。
だがその事を知る者は
少ない。

デビット・ウェイ。
私の記憶に…
そして
新たな命にその名は
受け継がれる…

デビット少年の妄想授業



如何判るかしたらデビット？

そう、そこよ。

そこがクリトリス、女性の一番感じる処よ！

え、その下が尿道ね！

あっコラ！ 臭いを嗅いじゃダメ！さっきトイレに行った

ばかりなんだから！

そしてその下の穴が、ふふそうよ貴方が一番関心を持つ処よ、

指入れてみる？

あとがき

このたびは当サークル発行物をお買い上げ頂きありがとうございます。
今回もまたまた記憶の隅に隠れていた古の名作を引っ張りだして来ました。
宇宙戦士バルディオスは今は無き国際映画社と葦プロダクションにより送り出された
名作です。
全体的に高年齢向けの作風で今一人気が出なかったものの自分は結構好きな作品の一つです。
放送打ち切りも相まって最後まで救い様の無いストーリー展開、
突然の地球水没BADEND(人類滅亡?)にはたまげました。
後日映画版で未放送分の完結編が上映されましたが、これもヒロイン死亡、地球放射能まみれ
という悲惨な最期でした。
そんな中でも一お気に入りのストーリーが今回取り上げた第29話「地氷河期作戦」です。
妙齢のブルーフィクサー科学開発部局長 エラ・クインシュタイン博士 32歳 を恋慕う
かつての教え子 デビット・ウェイン 。氷河期作戦を阻止し、愛する博士を救う為にと、特攻兵器フィクサー1のパイロットに志願する
彼に作戦当夜午前1時自分の部屋の鍵を開けておくと言いつけるクインシュタイン。
しかし約束の時間が過ぎても現れないデビット、その時轟音と共に飛び立つフィクサー1
デビットは博士の部屋の鍵は開いてる事を確認しただけでその場を立ち去り出撃して
行ったのだった。
うーん何と言うアダルトな展開でしょう、シリーズ中屈指の名作でした。
そんな訳でこんなお話になりましたとき。
それではまた、何時かどこかで..

猫御飯

GASRAKUTA-YA

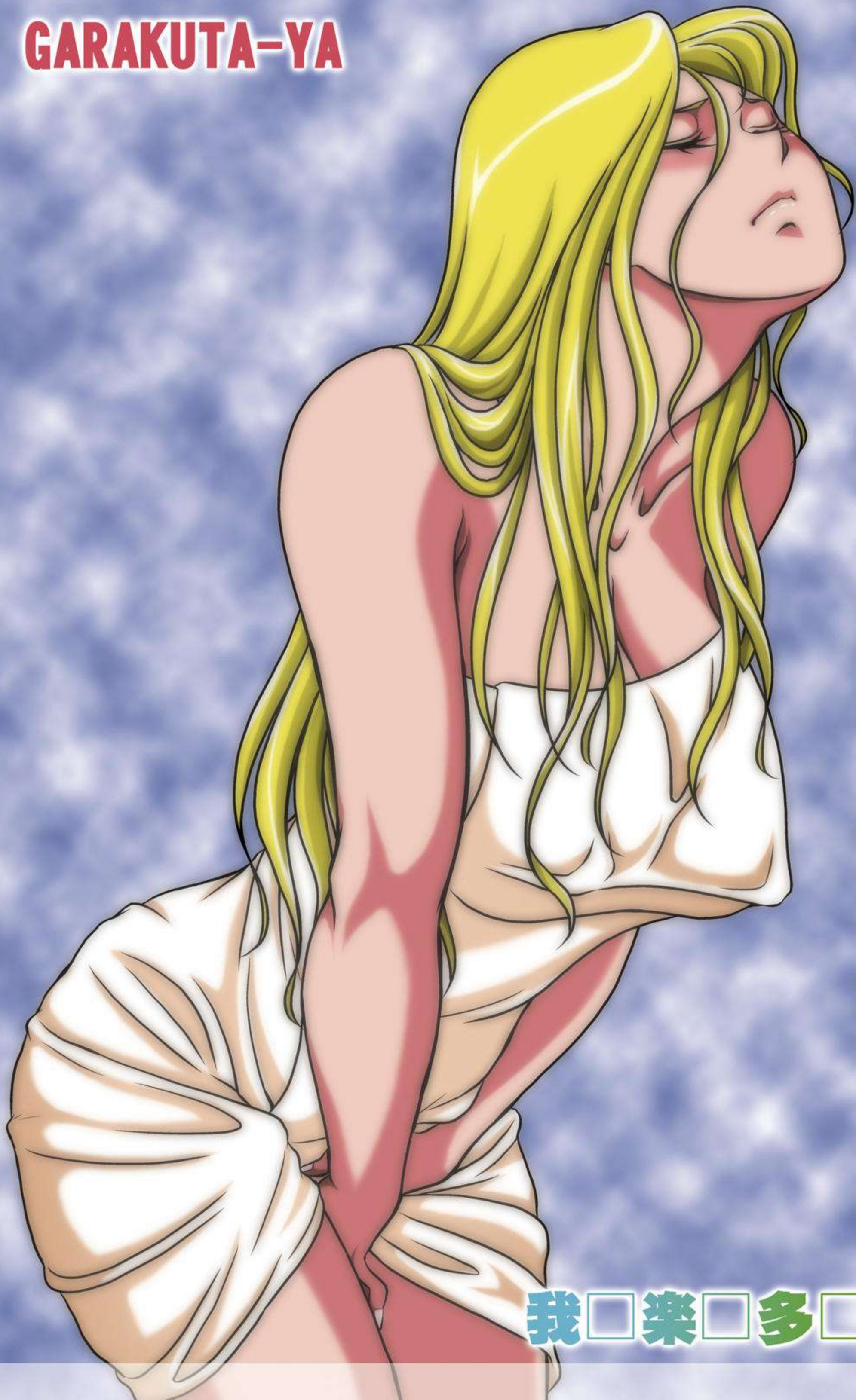
我口楽口多口屋

2011/12/31

garakutaya0@gmail.com

印刷 (有)ねこのしっぽ 様

GARAKUTA-YA



我□樂□多□屋